

10月12日 土 RUN 伴に参加しました！

RUN伴（ランとも）は、認知症の人や家族、支援者、地域の人が、一つのタスキをつなぐリレーでゴールを目指す日本全国のイベントです。認知症の人とタスキをつなぐという体験・出会い・気づきを共有することで、認知症の人も地域で伴に暮らす大切な隣人であることを実感し、誰もが暮らしやすい地域を創ることを目指しています。当院からは作業療法士5名がランナーとして参加し、TOHOシネマズ岡南から当院までを走り切り、無事にタスキをつなぐことができました。



待合・受付周辺の機械を変更しました

11/5（火）より電子カルテシステム更新に伴い、待合モニターや再診受付機・精算機を変更しました。待合モニターは表示人数を増やし、文字サイズを大きくするなどデザインを変更しています。精算機など使用方法が変更している部分もありますので、不明なことがあればお気軽にお尋ねください。



脳神経外科、整形外科、脳神経内科、リハビリテーション科、内科、循環器内科、麻酔科、放射線科、リウマチ科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、健康センター、脳卒中センター、サイバーナイフセンター、PET・RIセンター

〒703-8265 岡山県岡山市中区倉田 567-1
Tel. 086-276-3231 Fax. 086-274-1028
<http://www.kyokuto.or.jp>



1～3月 催しのご案内

参加無料（☆以外）

1/21（火） 14:00～15:00 第115回転倒予防健康教室
22（水） 13:30～14:00 糖尿病教室（2階会議室あさがお）

2/15（土） 13:30～16:00 愛脳会
16（日） 13:00～16:00 おかやまあかいはな道化教室
☆参加費3,000円

18（火） 14:00～15:00 第116回転倒予防健康教室
20（木） 14:00～15:30 認知症サポーター養成講座
第117回転倒予防健康教室 特別企画
太極拳講習会

25（火） 14:00～15:00 糖尿病教室（2階会議室あさがお）
26（水） 13:30～14:00 歌とピアノコンサート

3/4（水） 13:00～15:30 医療・福祉・介護教室
17（火） 14:00～15:00 第118回転倒予防健康教室
25（水） 13:30～14:00 糖尿病教室（2階会議室あさがお）
28（土） 14:00～16:00 第34回パーキンソン病健康教室
（開場13:30） 場所：岡山コンベンションセンター3階コンベンションホール
29（日） 10:00～15:00 第4回なかもちーずフェスティバル

※詳細は院内掲示およびホームページをご覧ください
感染症の流行状況により、上記催しが中止になる可能性もございます。
催しに参加される際は事前にご確認のうえ、お越しください。

コンサート以外へのご参加は
事前に申込みをお願いします

申込み ☎ 086-276-3231(代表)
企画広報室

愛

広報誌「愛」新春号

vol. 73
第175号

●患者と薬を再確認用法・用量気をつけて（医療安全推進標語）
●当院では、病気に関連して起きる様々な問題について医療ソーシャルワーカーが相談に応じています。相談は本館1階医療福祉相談課まで

●敷地内禁煙実施施設

病院統計（2018年1月～12月）			
外来患者延数	85,418人	紹介率	55.4%
入院患者延数	65,407人	逆紹介率	90.0%
新入院患者数	4,348人	救急患者搬入件数	1,919件
退院患者数	4,353人	脳神経外科手術件数	232件
平均在院日数	12.7日	整形外科手術件数	1,726 件

診療時間

午前 9:00～12:00（8:30受付開始）
午後 14:30～16:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	△	○	△

休 診 木曜午後 / 土曜午後 / 日曜 / 祝日
（但し、急患はこの限りではありません）

あとがき

特集として意外と知られていない高齢者の「てんかん」を取り上げました。そして、薬剤部のスタッフ紹介。本年も季刊誌「愛」を身近に置いてください。

院長 土井章弘

発行／公益財団法人操風会 岡山旭東病院
企画・編集／岡山旭東病院 広報委員会

愛

2020.1
新春号
vol.73

岡山旭東病院 季刊誌

Model：左から秋山さん(薬剤師)
濱口敏和医師(脳神経内科)・寺阪さん(臨床検査技師)
日本てんかん学会認定てんかん専門医の濱口医師により
今回、高齢にも起こるてんかんについて特集しています。

Photographer：Yosuke Noritsugu

●患者と薬を再確認用法・用量気をつけて（医療安全推進標語）
●当院では、病気に関連して起きる様々な問題について医療ソーシャルワーカーが相談に応じています。相談は本館1階医療福祉相談課まで

●敷地内禁煙実施施設

キラリ☆元気さん

薬剤部 薬剤師

秋山 咲絵

そこが知りたい

東山公民館 健康チェック

知っ得情報

知っていますか？脳卒中患者・家族会

経営理念

- 一、安心して、生命をゆだねられる病院
- 一、快適な、人間味のある温かい医療と療養環境を備えた病院
- 一、他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院
- 一、職員ひとりひとりが幸せで、やりがいのある病院

特集

なんだかおかしいぞ？
 ～意外と知られていない
 高齢者のてんかん～

ライフサプリー

血圧について

きょうとう連携のわ

うちおグリーンクリニック

キョクトウニュース

RUN 伴に参加しました！

待合・受付周辺の機械を変更しました

特集「なんだかおかしいぞ？ ～ 意外と知られていない 高齢者のてんかん～」

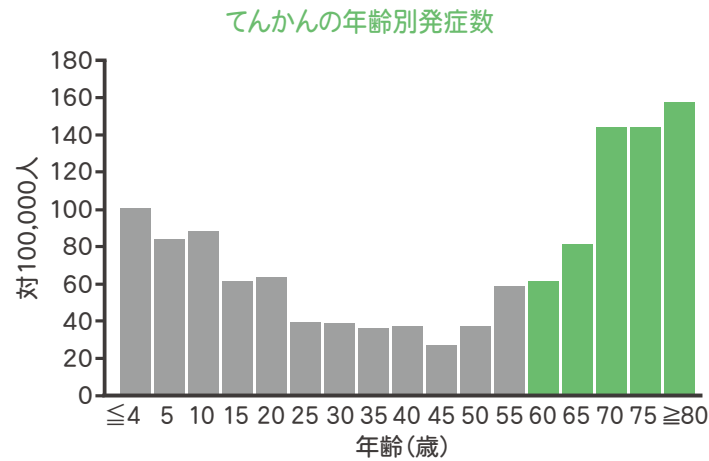
てんかん発作と聞くと多くの人は「意識を失ったまま両手足をガクガクとけいれんさせる発作」を想像しますが、てんかんはこれだけではありません。

脳は多くの神経細胞からできており、神経細胞は常に電氣的に活動をしています。この神経細胞が過剰に興奮し、過度に同期する（一定以上の数の神経細胞が一斉に過剰な電気活動を起こす）ときに、一過性の症状“発作”が起こります。この発作を繰り返す病気をてんかんと呼びます。

人口あたりの患者数は、約0.5～1%とされており誰にでも起こる病気です。どの年齢でも発病しますが、小児では3歳以下の発病が多く、成人では60歳以上が多く年齢を重ねるごとに発病率が上昇します。



診察の様子



グラフ参考文献
Stephan LJ, Brodie MJ : Epilepsy in elderly people.
Lancet 355 : 1441-1446, 2000. より改変

てんかんの症状

全般発作

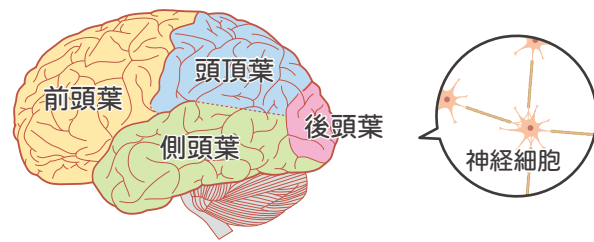
発症場所…両側の大脳で広範
意識…失ったまま
症状…両手足をガクガクとけいれんさせる発作

焦点発作

発症場所…特定の領域
意識…ある場合とない場合がある
症状…過剰興奮する神経細胞の領域により、異なる

高齢者では、ぼんやりするだけの意識障害を伴う症状が多くみられ、本人や周りが気が付かないこともあります。

脳の領域によって症状が違う



運動

体の一部が勝手に動く

高次脳機能

(意思・推理・思考など)

発語ができない
嘔気・嘔吐

感覚

不快なおおいがする

視覚

色のついた形が見える

聴覚

そのほかさまざまな症状があります

発作時にどうしたらいいの？

全身けいれんの場合

椅子に座っていたら体を支えて床におろします。気道確保のため横向きに寝かせる、または顔を横に向けてください。



その他の場合

高所、水中、路上など危険な場所で起こった場合は、移動させましょう。また体をぶつけたり、落下してきそうなものなどが周囲にある場合、取り除きましょう。

行動を制限せずに観察します。発作後に朦朧とした状態で動き回ることがありますが、行動を制限すると興奮することがあるため、無理に止めないようにしましょう。

長時間けいれんする場合、医療機関へ

多くの発作は3分以内でおさまりますが、より長時間続く「てんかん重積状態」が起こる可能性があります。5分以上発作が持続すると、自然に治まらない場合が多く、医療機関での点滴治療が必要となります。

救急車を必要とする症状



周囲の人へ

発作を撮影したビデオがあれば、より重要な診断の手掛かりとなります。発作の様子を撮影し、医師に見せましょう。



診断や検査、治療方法

診断

当院では脳神経内科、脳神経外科でおこなっています。問診は最も重要で、実際に発作をみた人の証言が必要です。

検査

脳の電気信号を記録する脳波検査の他に、MRIまたはCT、血液検査などをおこないます。



脳波検査

治療

まず内服薬でおこないます。約7割の方は、内服の組み合わせにより発作が抑制されます。抑制されない方の中には、手術が有効となる場合があります。手術の適応となるかは症状により異なるため、担当医師にご相談ください。



車の運転について



診断後すぐの届出の必要はありませんが、改正道路交通法により、免許更新時の病状申告が義務化されています。違反者には罰則規定がありますので、ご注意ください。

運転免許再取得について

病気を理由として免許を取り消され、3年以内に2年間発作なしの運転適性を回復した場合は、免許再取得時の技能および学科試験が免除されます。

中型免許、大型免許および第二種免許の場合は、投薬なしで5年間発作が無く、今後も再発の恐れがない場合に限り運転適性があるとされており、実現困難な基準となっています。



薬剤部
薬剤師

あきやま さきえ
秋山 咲絵

薬剤師として、日々知識の習得に励まれている勉強熱心な入職4年目の秋山さんにお話を聞きました

Q 主な業務内容

A 医師の処方箋に基づいて調剤をおこなっています。調剤する前には必ず処方内容が正しいかどうか、カルテから、診察・検査状況などを確認します。その上で、窓口や病室で患者さんとコミュニケーションを取り、薬の種類、用量などの変更を医師に提言することもあります。入院患者さんには、直接病室まで伺い、薬の効果や副作用の状況、飲む上で困ったことがないかなど、一人ひとりの状態を把握しています。



Q 心がけていること

A 患者さん一人ひとりの状態に合わせた服薬指導を心掛けています。例えば、錠数の多い方や飲み忘れの多い方には薬を一包化したり、カレンダーに入れるなど、飲みやすく、飲み忘れのないような工夫をしています。また、患者さんの状態を的確に把握するために、ご本人はもちろん、看護師、ご家族とのコミュニケーションも大切にしています。

Q やりがいを感じる時

A 新しく得た知識を活用して、患者さんのお役に立てた時や多職種に頼りにされた時はやりがいを感じ、向上心にも繋がります。日々進歩する医療を理解するために、院内外の研修会に積極的に参加しています。学んだことは、部署内外でも共有して、病院全体で医療の質を上げられるように努めています。

Q 患者さんへのメッセージ

A 薬は効果を理解した上で、正しく使用することが大切です。飲み合わせや飲む量によっては効果が弱くなったり、強くなりすぎたりします。また、妊娠中、授乳中の方は服用できない薬などもあります。気になることがあれば、薬剤師までご相談ください。また、内服状況を正しく把握するためにも、来院の際には、お薬手帳のご持参をお願いします。

そこが知りたい

地域の活動シリーズvol.3

東山公民館 健康チェック

2017年3月から平井学区町内会（地域住民）、山陽学園大学と当院が合同で、東山公民館を会場に健康チェック事業を実施しています。

半年に1回定期的にチェックしています

健康に対する意識を継続的に高めていただけるように半年に1回定期的に健康チェックを実施しています。検査結果から、一人ひとりの評価をお伝えし、アドバイスや運動方法の指導をおこない、相談にも応じています。

地域の健康づくりに寄与します

認知症サポーター養成講座の開催や地域サロンでの講演などの啓蒙活動もおこなっています。住民が主体となって、健康的な生活を送れる地域を目指し、病院だけでなく、町内会、大学と協力して地域住民の健康をサポートをしていきたいと思っています。

健康チェックの主な内容

☐ 認知症スクリーニング機器を用いた認知機能検査

☐ ロコモ度テスト

☐ 筋力測定などの運動機能検査

☐ 骨密度測定

☐ 体組成測定

☐ 円背率（背中の丸まり）測定

☐ 肥満度測定

☐ 生活習慣に関する問診 など



知っ得情報

知っていますか？脳卒中患者・家族会

脳卒中患者・家族会とは、同じ病気を経験した人や障害を抱える人、その家族が集まり、自由に話をする会です。思いを共有したり、同じ悩みを語り合ったり、療養生活に関する情報を交換することでお互いに支え合い、「悩んでいるのは自分だけじゃなかった」「思いを受け止めてもらえた」など、仲間がいる発見を通し、安心や元気をもらえる場です。また、語り合うだけではなく、病気や治療、リハビリなどの研修会を通し、学びの場としても活動します。

11月28日(木)に第1回を開催しました

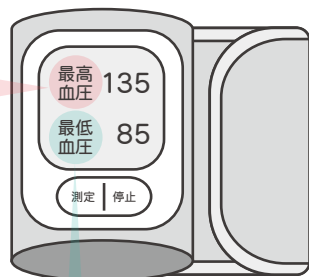
第1回は当院にて、講演「明日からできる！脳卒中再発予防」と、お茶を飲みながら自由に語り合う「茶話会」を企画しました。今後も年に1～2回程度開催し、患者・家族が聞き手としてだけでなく経験者として情報を発していける場を、皆さんと一緒に作りあげていきたいと考えています。



血圧について

= 収縮期血圧

心臓が収縮した時の血圧です。高いほど動脈の壁の“しなやかさ”が失われ、動脈硬化が進んでいます。



血圧は変動します

血圧は3回測れば3回とも違い、1日のうちに20～30mmHg違うことはよくあります。動脈硬化が強いほど変動しやすくなります。最高血圧と最低血圧の差は40～60mmHgくらいが普通です。差が大き過ぎるときは内分泌の異常などが疑われます。

= 拡張期血圧

心臓が拡張したときの血圧です。心不全がない人では、収縮期血圧が下がると拡張期血圧も下がります。

良い血圧計は？

上腕式が良いです。手首式や指式は測定の誤差が大きいので止めておきましょう。最近の血圧計は脈拍のセンサーの感度が良いので、服の上から測れたり不整脈を検出してくれたりします。使い方に不安がある方は、病院に血圧計を持参いただければスタッフが一緒に確認します。

測るタイミング

動脈硬化が進んでくると睡眠中に血圧が下がらなくなり、心臓や脳の血管障害を起こす危険性が高いといわれています。睡眠中は計れませんのでできれば目覚めて直ぐに寢床で血圧を測ると良いと思います。夜勤などで夕方に起きる人は夕方に測ります。血圧計を寢床に置き、寝る前にも測ると良いでしょう。



脳卒中センター長 / 脳神経外科 河田幸波

血圧が高い時

まずは深呼吸を6回してみてください。息を3～5秒かけて吸い、その倍の時間をかけてゆっくり吐き切ります。深呼吸は自律神経を整えてくれるので、血圧も下がります。

血圧が低い時

90mmHg以上あれば大丈夫です。めまい、麻痺、意識障害などの症状があれば、脳の血流を増やすために直ちに横になったり、前にかがんだりして頭を低くしましょう。



降圧剤を飲むタイミング

起床時の血圧が高い方は、夕食後に降圧剤を飲む方が良いでしょう。ただし、入浴後は血圧が下がりますので、夕食後すぐに入浴される方は、入浴後や寝る前に飲んでいただく場合もあります。また朝と夕に薬を分けて飲むと血圧の変動が小さくなることもあります。担当医にご確認ください。

血圧はテストの点ではありません

血圧を測るとき、とても緊張する人や何度も測って一番低い値を血圧手帳に書く人がいらっしゃいます。病院で医者にみられるのでテストの点のように良い値でないといけなと思われるのかもしれません。でも、血圧は今の体調を教えてくれる大切な情報です。急に上がってきたら「寒くなってきたかなあ」「外食が増えてきたかなあ」など健康を維持するために活用していただければと思います。



施設の特徴

干拓地として知られている興除・藤田地区に開業して30年を迎えました。

外科、内科、循環器科を中心に、地域のみなさまの健康を預かるかかりつけ医としての役割を果たすべく診療を続けております。また19床のベッドを持つ有床診療所として、入院が必要な患者さんにも対応しております。リハビリには特に力を入れており、7人のリハビリスタッフを中心に、多くの患者さんに対応させて頂いております。介護関係では、通所リハビリ、デイサービスを併設しており、居宅支援事業所のスタッフが介護についての相談を受けております。常勤医師2人体制で診療をおこなっており、通院が難しい患者さんには往診、訪問診療もおこなっております。信頼される医療機関としてさらに努力を続けて参ります。



診療科目 内科・外科・呼吸器科・胃腸科・肛門科・リハビリテーション科・循環器科

診療時間 午前 9:00～12:00
午後 15:00～18:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	14時～17時まで

休 診 木曜午後 / 日曜 / 祝日

〒701-0212 岡山市南区内尾463

☎ 086-282-5722 Fax: 086-282-2966

<http://futaba-ac.jp/>



◆公共交通機関をご利用の場合

JR宇野線「備中箕島」下車 徒歩15分
下電バス「内尾」下車 徒歩7分
駐車場 有り